

## 令和5年度第2回南丹市男女共同参画社会推進委員会会議録

日 時 令和5年8月23日（水）10：00～12：00

場 所 南丹市役所2号庁舎3階301会議室

出席者 芦田美子委員、大嶋久美子委員、大坪洋子委員、城戸貴子委員、  
木村節子委員、栗原明日香委員、戸本節子委員、中村裕予委員、  
野中大樹委員、八木あけみ委員、矢野茂世委員

事務局 前原正明市民部長、浅田妙子人権政策課長、大塚道昭課長補佐、  
大狩朋範主任、ジャパン総合研究所職員

欠席者 岸田義章委員、仲村 哲委員

傍聴者 0人

### 1. 開会

### 2. あいさつ 大坪委員長

今年度は、先だって配っていただきましたとおり、行動計画の中間見直しの年ということで、大変大事な年になると思います。本当に中間見直しができたなという意識が持てるような見直しができたらと思っています。

意見をたくさん言っていただき、なおかつ効率よくこの会議を進めていきたいと思っています。どうぞよろしく願いいたします。

### 3. 議事

#### ■第2次南丹市男女共同参画行動計画（中間見直し）骨子案の検討について （事務局説明）

#### ○委 員

1 ページの6行目に「女性・女児の窮状、女性の貧困等」とありますが、窮状と貧困の違いはどのようなところにあるのでしょうか。「女性・女児の窮状、女性の貧困」など、女性ばかりに重きを置かれています。男女共同参画社会の実現に向けての冊子であり、男女共同参画の問題は女性だけの問題ではありません。書き方を考えたほうがいいと思いました。

○委員長

ひとり親世帯という表現について、ひとり親世帯は父子家庭と母子家庭の両方ありますが、どちらかを指しているということでしょうか。「ひとり親世帯及び女性・女兒の窮状」と続きますが、もっと表現の仕方があると思いました。

○事務局

1 ページの6行目の窮状と貧困の違いにつきましては、国から示されている計画の策定に係る取組みに国の状況を記載した文言がありました。

6行目に関しては、分かりやすい形で修正させていただきます。前回の会議におきましても、柔らかな表現でというご意見を頂いておりましたので、市民にも分かりやすい言葉に変更させていただき、次回の会議でお示しさせていただきます。

窮状と貧困の意味を調べましたので報告します。窮状につきましては、困りはてている状況で、貧困は基本的なサービスが受けられない状況ということです。

○委員

9 ページの⑤で、令和4年度1年間の時間外勤務が360時間を超える職員の割合が9.57%と減ってきていますが、令和2年度と比べると増えてきています。令和6年度の目標値が3%以下ということですが、市役所のどの職種で残業が多いのでしょうか。

○事務局

一概には言えませんが、360時間というのは、平均すると月30時間となります。その中で、令和2～4年につきましては、福祉部門がコロナの影響による対策や予防接種の事業が多かったため増えています。令和4年度は、予防接種を業者委託とさせていただいた関係で、3年度に比べて減っている状況になります。市としても3%という目標値を掲げて、超過勤務を減らしたいと考えております。

○委員

第2章の「1. 統計からみる南丹市の現状」の「(1) 人口の推移」の一番下の行に「出生率向上のためにも、女性だけに子育ての負担が偏らない施策が重要となっていることから」という文言があり、前回の調査にもそれがありませんでした。また、6ページには、子育て世代の就労の状況が下がっていないということが出ていますので、出生率の向上のためには、子育てに対する支援だけでなく、他のことも考えられると思います。前回の調査では下がっ

ていましたが、今回は下がっていません。

○委員長

26ページ以降の「4. 前計画の成果と本計画策定に向けた課題のまとめ」の「課題」に、今の意見も踏まえて、「新規」で反映していただければと思います。

○委員

年号について、前回の行動計画では西暦も入れていただきましたので、こちらも西暦を加えたほうが分かりやすいと思いました。

4～5ページのグラフの数字について、人口と出生数で計算すると小数第一位の値がずれました。ここに表されている積ではない数値で計算されているのではないかと思いますので、参考にされた数字をご説明いただけたらと思います。

5ページのひとり親世帯について、子どもが何歳までなど、定義を書き加えていただくと分かりやすいと思います。

6ページのグラフは、年齢に対しての数値が分かりづらいので、縦に補助線を加えると見やすくなると思います。

○事務局

5ページの出生率の数値について、4ページの人口の推移は住民基本台帳の各年度の4月1日、5ページの「出生数と出生率の推移」は10月1日の数値を見ているので、どちらかの数値を合わせる形で修正させていただきます。

ひとり親世帯の定義は、20歳未満の子どもがいる家庭が対象となっておりますので、下に注釈を入れさせていただきます。

6ページのグラフについても補助線を入れて分かりやすくさせていただき、次回の会議に修正したものをお見せできるように進めてまいります。

○委員

10ページのグラフの下にある帯の説明の四角がとても小さくて見にくいので、11ページの四角の大きさに変えていただきたいと思います。

9ページの⑤の時間外勤務について、男性と女性での違いを知りたいので、性別で分けていただけたらと思います。

○委員

調査の結果の中には、今回と前回の2つを挙げているものと、今回のものだけが挙がっていたりいろいろありますが、それには比較をするためなど

の根拠があるのですか。

24ページ、「3. 関連団体ヒアリングからみる現状と課題」に書かれている文章は、この会議で出た意見が記載されているのですか。

○事務局

24ページについては、委員の皆様からいただいたご意見が記載されています。

○委員

そうであれば、「男女共同参画について」の下の文章は、違和感があります。市民の書かれた文章であれば訂正のしようがありませんが、それをまとめられたということであれば、もう少し違った書き方でもいいのではないかと思います。

○事務局

調査結果の比較の意図につきまして、今回のアンケートで、社会情勢の変化や法令が新しく制定されているところを質問内容に入れているものは比較できませんが、平成29年度と同じ設問内容で比較を行えるものは、比較を行っています。

「3. 関連団体ヒアリングからみる現状と課題」については前回、委員の皆さんにお配りして回答を頂いた結果、「理解が深まっていると思う」というご意見がありましたので記載させていただきました。

○委員

その下の「男女共同参画で特に重要なことは」という文章については、個人の意見ということですか。

○事務局

前回の会議の時に、それぞれのお立場からご意見を頂きたいと用紙をお渡しして、委員の皆様から直接頂いたものをそのまま記入していますので、「理解が深まっている」と書かれた方もいらっしゃれば、「男女共同参画で特に重要なことは」ということを書かれた方もいらっしゃいました。皆さんの意見をそのまま記載させていただいています。

○委員

「男性のお荷物として扱われない」というところは、「男性に依存しない」という言葉のほうが適切ではないかと思います。

○委員長

文章をまとめたものではなくご意見のままなので、意見にばらつきがあるということです。

○事務局

前回配らせていただいたアンケート用紙の中でご意見を頂いた内容をそのまま掲載させていただいておりますので、違和感があると言われればそうかもしれませんが、現状という形でご理解いただきたいと思います。

■ R4年度庁内ヒアリングシート様式について  
(事務局説明)

○委員長

前回の会議では、大ざっぱという意見もあったので、見直されて大変細かくなつたと感じます。

前回の資料では、男女共同参画に対する受け取り方が各課によって違っていました。しっかり考えて書いている課と、どのページを見ても同じ回答という課もありましたので、庁舎内での男女共同参画に対する意識について疑問に思っていました。今回のシートは詳しいので、その問題は解消するのではないかと思います。

計画策定から半分が過ぎたので、あとの5年間を充実したものにしていかなくてはならないと思います。5年たって庁舎内にも浸透してきたのではないかという思いはありますので、期待して待っています。

ヒアリングシートは、これで進めていただいでよろしいでしょうか。

(委員承認)

4. その他

南丹市人権講演会の案内

5. 閉会 野中副委員長

第2次南丹市男女共同参画行動計画骨子案の中間見直しということで、本日はさまざまなご意見を頂き、誠にありがとうございました。まだまだ日中も暑くなっていますし、熱中症やコロナの感染も含めて、健康には留意していただき、次回また皆さんおそろいでお世話になりたいと思いますのでよろしく願いして、閉会のあいさつとさせていただきます。本日は誠にご苦勞様でした。ありがとうございました。